

## 「行徳野鳥観察舎の再開と存続を求める」署名

私たちは、千葉県行徳野鳥観察舎が再開し、自然を守る拠点として末永く利用できることを心から願っております。

千葉県行徳野鳥観察舎は、1976年(昭和51年)1月、プレハブ2階建ての旧館からスタート。数万羽ものスズガモの大群が見られたこともあり、予想以上の人気を集めました。

学校の1クラス全員が望遠鏡で鳥を見ることができる現在の観察舎建屋が、1979年(昭和54年)12月オープン。以来36年間にわたり、数多くの方々に愛されてきました。

造成された行徳保護区は、40年の歳月を経て、東京湾でも貴重な泥干潟が海と陸をつなぐ自然環境となりました。この環境を守り育ててゆくことは、私たちの願い、そして責務です。

千葉県内の環境学習施設の多くは行政改革の見直し対象とされ、行徳野鳥観察舎は耐震診断の結果、震度6強の地震では倒壊しないまでも崩落の危険があるとの判断で、2015年(平成27年)12月28日から無期限の休館となりました。

私たちは、行徳野鳥観察舎、そこに集う鳥たち、そこに集う人たちが大好きです。

1日も早い復活と、将来にわたる存続を強く希望します。

千葉県知事 森田 健作 様

住 所	氏 名

行徳野鳥観察舎を愛する者一同 代表 三木 信行 蓮尾 純子

〒272-0137 千葉県市川市福栄4-26-1 tel 090-1558-2580

eメール akirax.1209nm@docomo.ne.jp